



【公開講座】 サプライチェーンの労働問題を考える ユニクロの下請労働者がインドネシアから補償を求めて来日

10月7日から14日に、インドネシアのユニクロの下請会社であったジャバ・ガーミンド（JG）社の労働者と支援団体のスタッフが来日します。JG社は、ユニクロからの生産委託が打ち切られて倒産。労働者たちは一部賃金と退職金が支払われないうまま解雇されています。労働者たちは、未払い賃金・退職金を求め、ユニクロの社会的責任を追及して闘っています。本講座においては、労働者の訴えを聞き、サプライチェーン（下請企業）における労働問題を知り、ユニクロなどの多国籍企業の社会的責任や日本で私たちに何ができるかを考えていきたいと思えます。ご関心あるみなさんのご参加を呼びかけます。報告は通訳付きです。

【報告】

ソ・シヨン	CCCEA-クリーン・クローズ・キャンペーン東アジアコーディネーター	
テディ・プトラ	ジャバ・ガーミンド労組委員長	JG 労働者に何がおきたか
ワーム	ジャバ・ガーミンド女性労働者	女性労働者からの声
ムチャマド・ダリズム	インドネシアにおけるサプライチェーン労働者の現実	
	WRC インドネシアスタッフ	
イロナ・ケリー	CCC 国際事務局	世界のサプライチェーンと CCC の活動
遠野はるひ	CCC 東アジア運営委員	日本で何ができるか

日時：2018年 **10月13日**（土）14:00～17:00（13:30 開場）

場所：明治大学駿河台キャンパス・アカデミーコモン 8階308F

共催：明治大学労働教育メディア研究センター

サプライチェーンを考えるネットワーク **参加費：無料**

参加申込み：資料準備の都合で、参加を希望される方は、10月11日までに明治大学労働教育メディア研究センター（labored@meiji.ac.jp）に連絡をください。

